平成29年12月5日
北海道建設新聞掲載

が会員一人一
識を持って交
に備えること
。
12月を交通安
と位置付け無
を呼び掛ける
年、交通安全
いる。
野田会長と
長、山本謙二
長、鹿
別警察
が交通
運転の
ンに
防止な
向けて
地域自
にも新
も方針。変更
事業費につ
は878万7
18年度は1億
円、19年度は

1039万4000円と
している。

図書購入費を
足寄町に寄付

道東舗道

【帯広】道東舗道（本社・足寄）は1日、図書購入に役立てて、足寄町に100万円を寄付した＝写真。

同社は来年、法人組織になって50年の節目を迎えるが、現在全面改修している町民センター内の図書室・子ども図書室が来年11月をめどに図書館として生まれ変わること

を聞き、町への恩返しも込めて図書購入費を寄付することとした。

この日、丸山勝由社長が役場を訪れ、安久津勝彦町長に図書購入の一部に充ててほしいと、寄付金を手渡した。

公共事業伸び
景況判断据置

帯広財務事務所
7―9月期経済

【帯広】帯広財務事務所は、2017年7―9月期の十勝管内経済情報を発表した。「緩やかに回復しつつある」という景況判断を前期（4―6月期）に続いて据え置いた。災害復旧で公共事業が伸び、観光も好調で、個人消費も前年並みという理由による。

公共事業の前払い金保証請負額（7―9月期）は前年同期を38・6%上回る231億8600万円で、6期連続して前年比プラス。主な事業別では治山・治水が189億円（前年同期比3・4倍）、農業基盤整備が107億円（28・6%増）、道路が176億円（38・6%増）。

帯広、音更、幕別、芽室の1市3町を合わせた7―9月期の住宅着工戸数は500戸で3・3%増えた。持ち家は5・1%増の227戸で、貸家は6・6%増の243戸だった。持ち家は内覧会の来場者数が減少し、貸家は空室の発生率が高まり、金融機関の融資姿勢も厳しくなりつつあるという。

個人消費は、主要小売店売上高で見ると、飲食料品は0・4%減で、衣料品は0・3%増、トータルでは0・3%増だった。飲食料品は昨年の連続台風で弁当や飲料水の需要が増えた反動減とみている。

観光は、とかち帯広空港の乗降客数が4期連続、十勝川温泉の入り込み客数も3期連続、帯広市内ホテル宿泊客数も2期連続でそれぞれ前年を上回った。新千歳空港から道東方面を訪れる個人客が増えており、今後も堅調に推移するとみる。

今後、全体の見通しについて高桑誠所長は「公共事業は好調で、比較的天候に恵まれたため農業生産の回復に伴う管内経済への好影響が期待できる」と話す。

装2.8kmを計画

通作条件北矢臼別

乳車など大型車両の通行が困難で営農活動に支障

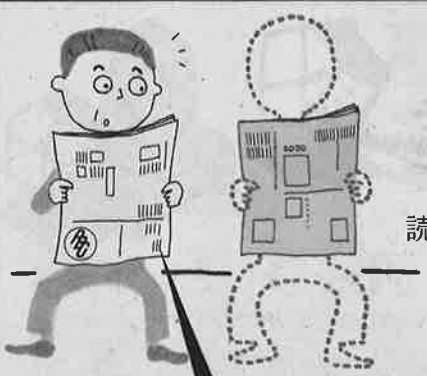
を来していた。

これらの課題解消に向け、延長2774㍍、全幅員6㍍（車道4㍍）を対象に改良舗装を施して輸送の効率化とコスト低減を図ることとし16年度に採択を受けた。総事業費には3億4380万円を試算した。

18年度以降に工事が本格化し2774㍍の改良舗装を予定している。

16・2%の値上げや3・3%の資産維持費導入を盛り込んでいる。料金改定は18年ぶりとなる。

市の水道管路は総延長の約3割が法定耐用年数を超え、地震など災害に強い水道管への切り替えが急務だ。愛国浄水場更新は、第一期（配水施設）が16年度に完了し、17―23年度に第二期（浄水施



ABC部数は
読者が見える数字です。

当紙の部数はABCが認証しています。

一般社団法人 日本ABC協会 http://www.jabc.or.jp

厚生労働省委託　通年雇用促進支援事業

平成29年度 事業主向け 通年雇用支援セミナー

待ったなし！ 平成30年4月1日スタート！ 有期契約社員の無期転換ルールに関して

参加無料

日時 12/11(月) 13:30～15:00
会場 ホテル黒部２Ｆ 出雲 北見市北7条西1丁目

講演終了後 個別相談会（希望者のみ）

講師 OKO社会保険労務士事務所 社会保険労務士 小嶋亜希子

事業主の方、人事労務担当の方など季節労働者の雇用の有無にかかわらず参加いただけます。

お申込みお問合せ
北見地域季節労働者通年雇用促進協議会
北見市北4条東4丁目2番地 北見市役所第1分庁舎2F
http://www.kitami-tunenkoyo.jp/
TEL・FAX 0157-25-1248
平日8:45～17:30(12月31日～1月5日除く)

真砂徳子の 起一パーソン

2009年10月～2012年3月本紙掲載 ver.1 ¥800

電子書籍で販売中

APP Store、Google Playへのアクセスは下記サイトより
http://e-kensin.net/e-book/

発行／株式会社北海道建設新聞社 http://e-kensin.net/
制作／株式会社 正文舎 http://www.syoubunsya.co.jp/ebook/

著者・インタビュアー 真砂徳子